

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都江東区有明3-11-6
施設名	ニチイキッズありあけ保育園

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

水

〈テーマの設定理由〉

・昨年からSDGsの取り組みの一環として、世界の同世代の子どもたちの現状を知る機会を持っていた。毎日遠くまで水を汲みに行く子どもがいることを知り、「自分たちに何が出来るのか」「今何が必要なのか」を考える意欲が高まっていた為、水について調べたり考えたりする機会を増やそうと考えた。

2 活動スケジュール

導入：絵本・図鑑を使って世界の現状を知る  
No.1. 手洗いに必要な水の量を知る  
〈実験〉手洗いで使った水をバケツにためる  
No.2. 水は限りある物  
〈製作活動〉 ペットボトルでちょろちょろお水水道を作る  
No.3. きれいな水が出来るまで  
〈実験〉ろ過装置の作成とろ過  
No.4. 水の不思議に迫る  
〈見学〉水の科学館の見学  
No.5. 健康に生きるために必要なきれいな水  
〈見学〉虹の下水道管の見学  
No.6. 発表

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

素材：絵本・図鑑・参考書・ペットボトル・ろ過装置・たらい  
環境構成：子ども達が主体的に参加したり、自由に発言が出来るように落ち着いた環境を準備した。実際の体験からの学びを増やすために実験や見学を複数回計画した。

#### 4 探究活動の実践

##### 〈活動の内容〉

導入：絵本・図鑑を使って世界の現状を知る  
No.1. 手洗いに必要な水の量を知る  
〈実験〉手洗いで使用した水の量を可視化するためにバケツにためた  
No.2. 水は限りある物  
〈製作活動〉 ペットボトルでちょろちょろお水水道を作る  
No.3. きれいな水が出来るまで  
〈実験〉ろ過装置の作成とろ過  
No.4. 水の不思議に迫る  
〈見学〉水の科学館の見学  
No.5. 健康に生きるために必要なきれいな水  
〈見学〉虹の下水道管の見学  
No.6. 発表

##### 〈活動中のこどもの姿、声、こども同士や保育者との関わり〉

水道から水が出ない事に気が付いた子ども達は「水がなくなっちゃったんじゃない?」「水がないって困っているよ」「水出しっぱなしにしちゃったから無くなっちゃったんじゃない」と気が付いた事を口々に話していた。水がでない事に困る状況を体験し、手洗いの際に使用する水の量を調節する子どもが見られた。  
手を洗った際に使用した水の量の多さに驚いていた子ども達。実際に目にする事で改めて水の大切さに気が付いた様子だった。そこで、水の量を節約する事の出来るペットボトルで作る水道を制作した。制作した水道を使って実際に手を洗った感想について、「水を使いすぎなくて地震とか台風とかの時にも使えていいと思った。」「蓋を開けるのが大変だった。お外でも使えるからいいんじゃないかなと思った。」「ちょろちょろしてるのがおもしろかった」など使う場面についてまで発展して考えられていた。  
さらに、ろ過装置を作り、水がきれいになるまでについて知る機会を設けた。「泥水がお茶みたいになって飲みたくなった」「なんでそんなに水がきれいになったのか不思議」「どうしてろ過って言うのかなと思った」など新たな疑問をもつ子どもが多かった。  
また、水の科学館への見学では、雨が降ってどのように水が流れていくのかの映像を興味深く鑑賞し、深く印象に残った子どもが多かった。「水がさぶーんてなって怖かった」など普段自分たちの身近にある水との違いを感じていた。  
虹の下水道館の見学では、普段使っている水が流れていく先について学ぶ事が出来た。水になった気持ちで下水道を旅する動画を見て水の流れに興味を持つ事が出来ていた。帰り道ではマンホールを探したり、マンホールの中に挟まったごみを拾おうとしたり、学んだことをすぐに行動に移す姿が見られた。



#### 5 振り返り

##### 〈振り返りによって得た先生の気づき〉

ひとつのテーマに継続して取り組む事で、興味関心が増し、新たな疑問が生じそれを探求したいという気持ちの表れが発言の中に見て取れた。実際に体験する事によって学びを得て、行動に変化が出る事を実感した。異年齢クラスでの実施となった為、言葉の理解度などに差があったが、視覚的な情報を多用する事で十分な理解が得られた。